

エレベータージャーナル

# ELEVATOR JOURNAL

No. 24

2019年4月発行

㊤ 一般社団法人日本エレベーター協会

## CONTENTS

### ● クローズアップ

GRANODE 広島  
THE THOUSAND KYOTO  
(ザ・サウザンド キョウト)  
さっぽろ創世スクエア  
縄文時遊館  
フォーポイントバイシェラトン名古屋  
中部国際空港  
水戸市本庁舎  
ヤオコーサポートセンター (本社)

### ● 昇降機業界で活躍する女性の紹介

エレ小町No.20  
エレ小町No.21

### ● 協会記事

11月10日「エレベーターの日」  
やさしい心 ありがとう  
キャンペーン実施報告2018年度  
大阪府北部を震源とする地震の  
昇降機被害調査結果

### ● 読者からの寄稿

ミスターEのアメリカエレベーター情報  
第7回「アメリカンエレベーター病」前編

### ● 昇降機 Column<sup>㊤</sup>

今は昔 “エスカレーターガール”  
—昇降機の“おもいやり”職業—

### ● 編集後記

クローズアップ



建物外観

# GRANODE 広島

庄 聡

(Satoshi Sho)

東芝エレベーター株式会社  
中国支社 建設グループ

実施設計、監理：株式会社 フジタ 広島支店 一級建築士事務所  
ダイダシ株式会社 大阪本社 一級建築士事務所

施 工：株式会社 フジタ 広島支店

構 造：鉄骨造

階 床 数：地上20階、地下2階

建屋高、軒高：90.75m

工 期：2016年12月1日～2019年3月29日

竣 工 日：2019年3月29日

開 業 日：2019年4月1日

## 1. はじめに

GRANODE 広島は、JR 西日本広島駅北口大規模再開発の高層複合ビルです。グラノード「GRANODE」のネーミングコンセプトは、建物をイメージさせるグラウンド「GRAND」とアクティビティの中心となることを意図したノード「NODE」を組み合わせた造語からきています。

広島駅の南北を結ぶ自由通路が全面供用開始され、広域交通ターミナルとしての利便性が増し、さらに山陽自動車道につながる広島高速5号線の出入口も至近に計画されており、ビジネス拠点として絶好の立地を誇ります。

ビルの1階と2階は、商業用途となっており、様々なニーズに応える店舗が入居します。3階から11階は、フロア総面積及び1フロア面積が中国、四国地方最大を誇るオフィス、13階から20階は、ホテル、地下1階と地下2階は、駐車場となっています。隣接するテレビ局のイベントなどとの相乗効果で、憩いと賑わいの新たな都市空間を実現します。

## 2. 建物概要

所 在 地：広島県広島市東区二葉の里三丁目8番7号

建 築 主：大和ハウス工業株式会社

基本設計、監修：株式会社 安井建築設計事務所

## 3. 昇降機設備

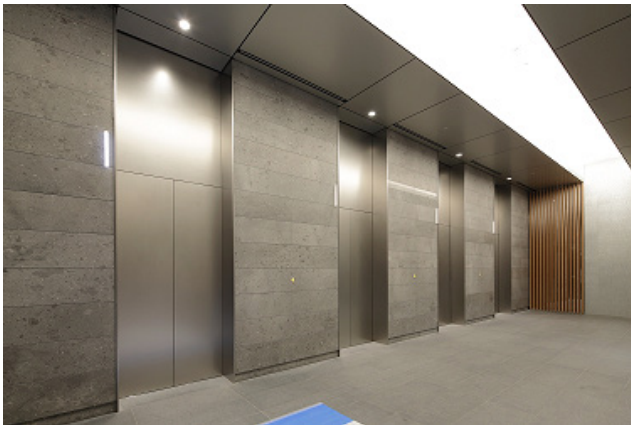
昇降機設備は、エレベーターが15台、エスカレーターが2台の計17台が納入されています。

2階のテナントフロアへのアクセスには低速待機自動運転を備えたエスカレーターが設置されており、正面の大通りからの利用者にとって便利な配置となっています。

11階までのオフィス階には8台群管理エレベーターを採用。うち2台は、地下1階の駐車場への利用が可能です。意匠面にステンレス製パイプレーション仕上げを多用し、シャープな印象をもたらしています。

高層階のホテルゾーンは、13階のフロントへ直行する3台の高速エレベーターが配置されています。夜間は、宿泊客以外の利用を制限するセキュリティ機能を備えています。また、耐久性を考慮し、かご内には強い化粧シートを採用しました。

クローズアップ



オフィス用エレベーター 1階乗場



オフィス用エレベーター かご内



ホテル用エレベーター 13階乗場



ホテル用エレベーター かご内

エレベーター仕様 (計 15 台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 サービス階	メーカー	備考
1	乗用	インバーター	乗合全自動方式	750	11	60	1	3 (B1、1、2)	東芝	車いす仕様
2	人荷用	〃	〃	1150	17	60	1	3 (B1、1、2)		
3～8	乗用	〃	全自動群管理方式	1600	24	150	6	11 (1～11)		
9、10							2	12 (B1、1～11)		車いす仕様
11～13	〃	〃	〃	750	11	210	3	10 (1、2、13～20)		11号機：車いす仕様
14	人荷用	〃	乗合全自動方式	1900	29	150	1	21 (B1、1～20)		兼非常用
15	〃	〃	〃	1150	17	150	1	21 (B1、1～20)		〃

エスカレーター仕様 (計 2 台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
1	S1000 形	透明強化ガラス	30	1-2	5800	1	三菱	低速待機自動運転
2	〃	〃	30	1-2	5800	1		〃

クローズアップ



# THE THOUSAND KYOTO (ザ・サウザンド キョウト)

寺 西 享 範

(Akinori Teranishi)

株式会社 日立ビルシステム  
関西支社 営業技術部

建物 外 観

## 1. はじめに

JR京都駅中央口から徒歩2分の好立地に建設された「THE THOUSAND KYOTO」は、客室全面リニューアルされた「京都センチュリーホテル」と地下1階から地上3階部分で接続した一体的開発により、グローバルマーケットに対応する京阪グループのフラッグシップホテルとして開業しました。

ホテルのシンボルの一つとなっているロビーの「大階段」は、歴史ある京都を思わせる木組の細い路地のような、エントランスを抜けた先にある、吹き抜けの大空間に現れます。この石造りの「大階段」は、寺社仏閣を訪れたときの清々しく、非日常へ入りこむような体験を演出しています。

千年の都、京都の豊かな知恵、おもてなしの文化と美学によって、訪れるゲスト一人ひとりが自分時間を心地よく過ごせる、パーソナルな癒しにあふれたホテルを提供する「パーソナル・コンフォート・ホテル」となっています。

## 2. 建物概要

所在地：京都府京都市下京区東塩小路町570番

建築主：京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社

設計・監理：株式会社 東畑建築事務所

施工：株式会社 竹中工務店

建物用途：ホテル

敷地面積：約6,800㎡(施設全体)

延床面積：約18,900㎡

構造：基礎部鉄筋コンクリート造、地上部鉄骨造

階床数：新館 地下1階、地上9階

本館 地下2階、地上10階

建屋高、軒高：30.90m

工期：2017年1月23日～2018年12月17日

竣工日：2018年12月17日

開業日：2019年1月29日

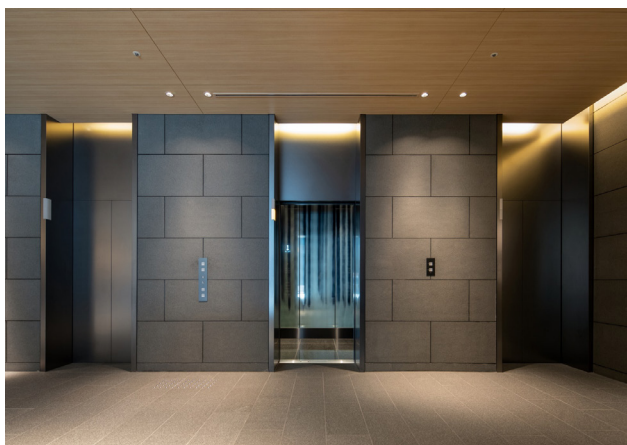
## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、増築された新館の「THE THOUSAND KYOTO」と既存部分である本館の「京都センチュリーホテル」にエレベーター13台、エスカレーター4台の計17台が納入されています。そのうち本館のエレベーター5台とエスカレーター2台が、リニューアルをされました。

客用エレベーターの乗場デザインは、縦枠、幕板、乗場戸にブラックカラーステンレスバイブレーション仕上げを採用し、ホールボタンの部分には、デザイン性を損なうことなく手垢防止対策を施しています。

かご内は、側壁に京都の伝統工芸品の一つ、京友禅の伝統技法により、「水墨画の滝」をイメージし、染職人によって描かれた染布を、ステンレス鏡面材とガラスの間に挟み、立体感のある「唯一無二」の友禅合わせガラスを採用しています。「水墨画の滝」をイメージした友禅合わせガラスは、両側面に配された鋼板製の木目調塗装と、ブラックカラーステンレスバイブレーションと相まって、幻想的かつ優美な空間を創出しています。

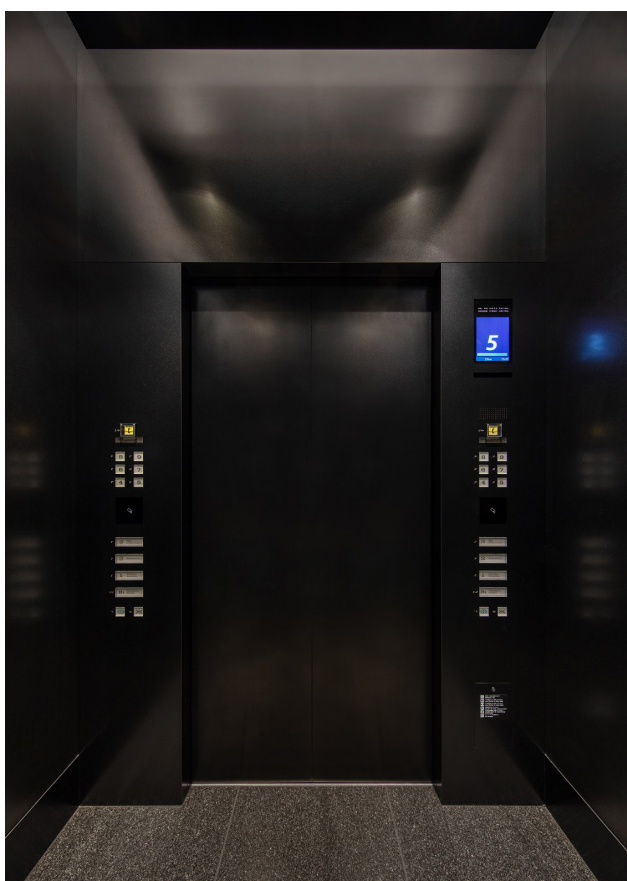
クローズアップ



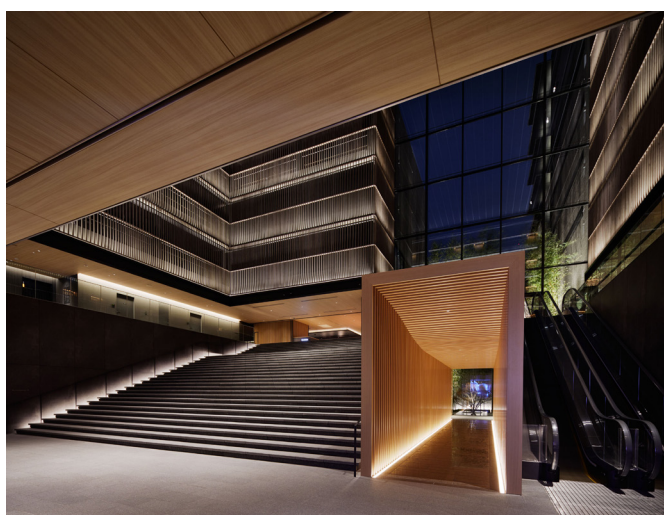
新館 客用EV-1～3号機 1階乗場



新館 客用EV-1～3号機 かがり内 (背面)



新館 客用EV-1～3号機 かがり内 (正面)



新館 ホテルエントランス大階段

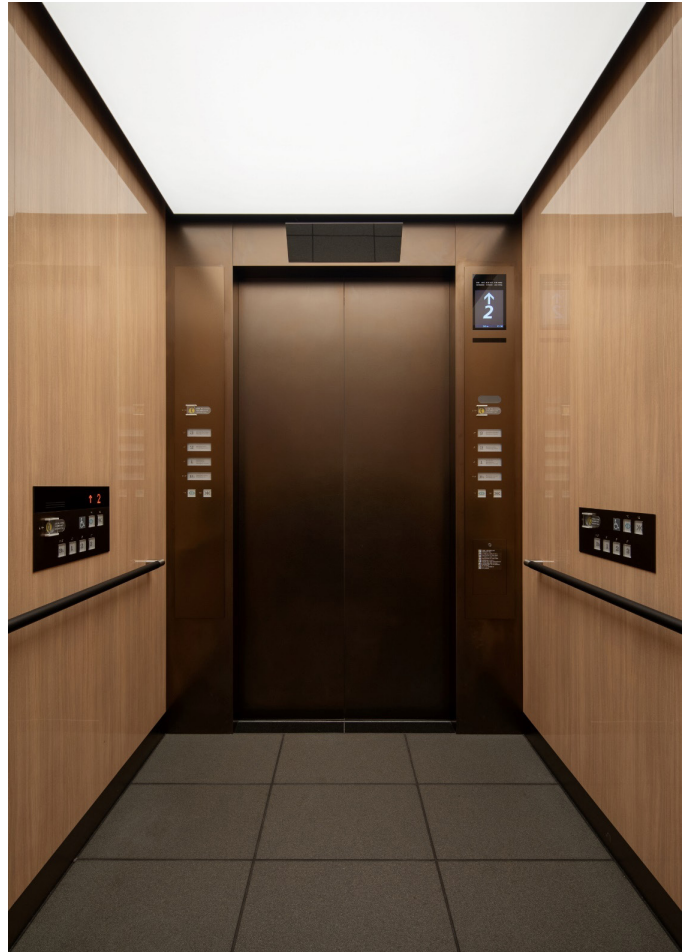
クローズアップ



本館 客用EV-6、7号機 2階乗場



本館 客用EV-6、7号機 2階乗場からのかご内



本館 客用EV-6、7号機 かがり内

エレベーター仕様 (計 13 台)

棟	バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
新館	客用	EV-1 ~ 3	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1150	17	105	3	10 (B1、1 ~ 9)	日立	1台車いす仕様
	バック用	EV-8	人荷用	〃	乗合全自動方式	1000	15	90	1	10 (B1、1 ~ 9)		
	〃	EV-9	〃	〃	〃	600	9	90	1	10 (B1、1 ~ 9)		
	〃	EV-10	〃	〃	〃	1450	22	90	1	10 (B1、1 ~ 9)		
本館	客用	EV-4、5	乗用	〃	群乗合全自動方式	1150	17	105	2	13 (B2、B1、1 ~ 10、R)	日立	1台車いす仕様、2方向
	〃	EV-6、7	〃	〃	〃	1000	15	60	2	4 (正面: B1、3 背面: 1、2)		兼非常用
	バック用	EV-11、12	人荷用	〃	〃	1150	17	105	2	13 (B2、B1、1 ~ 10、PH)		
	〃	EV-13	〃	〃	乗合全自動方式	750	11	60	1	3 (1 ~ 3)		

エスカレーター仕様 (計 4 台)

棟	バンク	号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
新館	客用	ESC-1、2	S600	透明強化ガラス	30	1-2	4500	2	三菱	低速待機自動運転
本館	〃	ESC-1、2	S1000	〃	30	1-2	4500	2		〃

クローズアップ



建物外観

# さっぽろ創世スクエア

金 田 雅 康

(Masayasu Kaneda)

菱電エレベーター施設株式会社

北海道支店

竹 田 雄 次

(Yuji Takeda)

東芝エレベーター株式会社

神奈川支社 建設部

## 1. はじめに

さっぽろ創世スクエアは、大通と創成川との交差点周辺エリアに位置し、札幌市中心部で進められている再開発事業の総称「創世1.1.1区(そうせいさんく)」内の北1西1地区に建設されました。

本建物は、劇場や図書館、スタジオ等からなる札幌市民交流プラザの低層棟と、オフィスと北海道テレビ放送からなる高層棟から構成されています。地下1階から地下3階には24時間利用可能な駐車場および駐輪場を、地下4階には地域冷暖房施設プラントを整備しており、近隣地域に温水、冷水を供給し、エネルギーの有効活用により省エネ、温室効果ガスの排出量の削減を図っています。

## 2. 建物概要

所在地：北海道札幌市中央区北1条西一丁目

建築主：札幌創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発組合

設計・監理：日建設計・北海道日建設計共同企業体

施工：大成建設・岩田地崎建設・伊藤組土建・岩倉建設・丸彦渡辺建設共同企業体

建築用途：事務所、放送局、劇場/ホール、図書館、店舗、駐車場、駐輪場、その他

敷地面積：11,675.94㎡

建築面積：9,431.66㎡

延床面積：131,891.72㎡

構造：S造、一部SRC造、RC造

階床数：地下5階、地上28階

建屋高、軒高：高層棟124m、低層棟66m

工期：2015年1月～2018年5月

竣工：2018年5月

## 3. 昇降機設備

昇降機設備はエレベーター 34台(オフィス12台、放送局4台、共用部7台、市民交流複合施設10台、駐車場1台)、エスカレーター 19台(共用部4台、市民交流複合施設15台)が設置されています。

高層棟のオフィス用エレベーターは低層、中層、高層用に各4台が設置されています。かご内は側壁に白の木目調シートを貼り、袖壁はステンレスビーズブラストで仕上げ、落ち着いた雰囲気醸し出しています。

放送局用エレベーターのかご内は、白のメタリック塗装が施され、明るいエレベーターとなっています。また、報道記者がいち早く現場へ駆けつけられるように、専用運転を備えています。

共用エリアのエレベーターのかご内は、袖壁と操作盤にブラックカラーステンレスを採用し、側壁は白の化粧シートを貼り、モノトーンで統一しています。天井はダウンライトとガラスクロスを組み合わせています。

市民交流プラザ内の劇場用エレベーターは、共用部との意匠の統一をはかりつつ、シートには木目調を採用し、劇場の空間に溶け込んだ意匠となっています。

クローズアップ



OC-EV1~12号機 1階乗場



OC-EV1~12号機 かが内



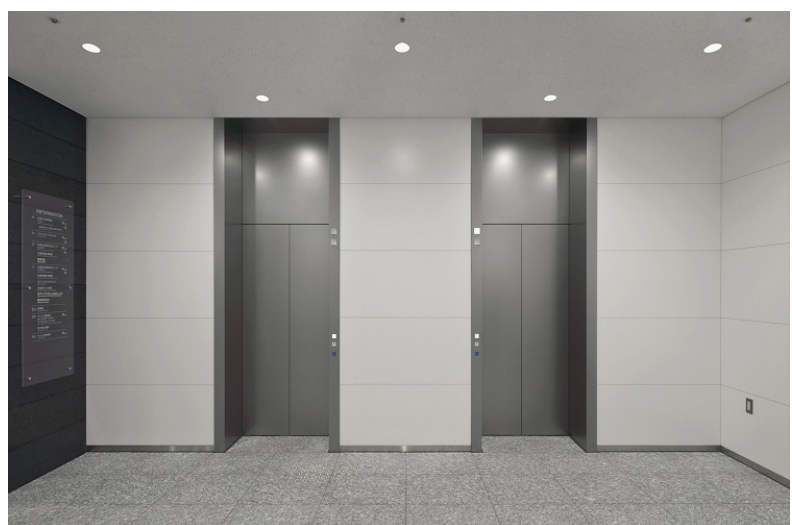
B-EV1~3号機 一般階乗場



B-EV1~3号機 かが内



CM-EV1、2号機 かが内



CM-EV1、2号機 B1階乗場



クローズアップ



H-EV3号機 乗場



H-EV3号機 かが内

エレベーター仕様 (計 34 台)

棟	バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (#-ピス階)	メーカー	備考
高層棟	オフィス	OC-EV1~4	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1400	21	180	4	8 (1, 9~15)	三菱	OC-EV1: 車いす仕様
		OC-EV5~8	〃	〃	〃	1400	21	210	4	8 (1, 15~21)		OC-EV5: 車いす仕様
		OC-EV9~12	〃	〃	〃	1400	21	240	4	7 (1, 21~26)		OC-EV9: 車いす仕様
	放送局	B-EV1	〃	〃	全自動群管理方式	1000	15	105	1	8 (B1, 1~7)	東芝	車いす仕様
		B-EV2, 3	〃	〃		1000	15	105	2	7 (1~7)		〃
		B-EV4	荷物用	〃	乗合全自動方式	2000	-	45	1	2 (B1, 2)	ダイコー	
全体共用エリア	CM-EV1, 2	乗用	〃	群乗合全自動方式	1600	24	105	2	7 (正面: B3, 1, 4, 背面: B2, B1, 2, 3)	東芝	2方向出入口 車いす仕様	
	CM-EV3	〃	〃	乗合全自動方式	600	9	60	1	3 (B3, B2, 1)		車いす仕様	
	CH-非EV1	人荷用	〃	〃	1150	17	150	1	30 (B4~B1, 1~26)		兼非常用	
	CH-非EV2	〃	〃	〃	2400	30	150	1	30 (B3~B1, 1~27)		〃	
	CL-非EV1	〃	〃	〃	1150	17	105	1	14 (B4~B1, 1, M2, 2~9)		兼非常用 車いす仕様	
	CX-EV4	〃	〃	〃	850	13	60	1	3 (正面: M2, 背面: B1, 1)		2方向出入口	
低層棟	市民交流施設	H-EV1	乗用	〃	〃	1150	17	105	1	9 (B2, B1, 1, M2, 2~6)	三菱	
		H-EV2	〃	〃	〃	600	9	60	1	8 (4, M5, 5, 第1~4ギャラリー, 11)		
		H-EV3	〃	〃	〃	1800	27	105	1	6 (4~9)		車いす仕様
		H-EV4	荷物用	〃	〃	10000	-	30	1	3 (B1, 4, 5)	ダイコー	
		H-EV5	乗用	〃	〃	750	11	30	1	2 (5, 5FL+1540)	三精	
		X-EV1	〃	〃	〃	1150	17	105	1	13 (B4~B1, 1~9)	三菱	兼非常用
		X-EV2	荷物用	〃	〃	4000	-	60	1	6 (B1, 2~5, 7)	ダイコー	
		M-EV1	〃	〃	〃	400	-	45	1	2 (B1, 2)	三精	
		L-EV1	乗用	〃	〃	750	11	30	1	2 (1, 2)	オーチス	
		L-EV2	〃	〃	〃	750	11	30	1	2 (1, 2)		
駐車場	P-EV1	〃	〃	〃	750	11	60	1	3 (B3, B2, 1)	三菱	車いす仕様	

エスカレーター仕様 (計 19 台)

棟	バンク	号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
共用 エリア		CM-ESC1,2	S1000	ガラス	30	B2-B1	5500	2	フジテック	
		CM-ESC3,4	〃	〃	30	B1-1	6500	2		
低層棟	市民交流施設	M-ESC1,2	〃	〃	30	1-2	7500	2		
		M-ESC3,4	〃	〃	30	2-3	6600	2		
		M-ESC5,6	〃	〃	30	3-4	6800	2		
		H-ESC1	〃	〃	30	4-5	6300	1		
		H-ESC2,6	S600	〃	30	5-6	5200	2		
		H-ESC3,7	〃	〃	30	6-7	5500	2		
		H-ESC4,8	〃	〃	30	7-8	5000	2		
		H-ESC5,9	〃	〃	30	8-9	5000	2		

クローズアップ



建物外観

# 縄文の丘 三内まほろばパーク 「縄文時遊館」新展示収蔵施設

橋 詰 裕 基

(Hiroki Hashizume)

三菱電機株式会社 東北支社  
ビルシステム部

工 藤 聡 志

(Satoshi Kudo)

青森三菱電機機器販売株式会社  
青森支店

## 1. はじめに

日本最大の縄文集落「三内丸山遺跡」の広大な遺跡ゾーンの一部に、周辺と溶け込むように配置された三内まほろばパーク縄文時遊館が竣工したのは、2002年11月。約16年の間、ビジターセンターとして、時空を越えた出会いと交流をテーマに、当時の生活や文化が体感できるギャラリーや体験工房など、レクリエーションの中に知的興奮の要素を組み込み、大人から子供まで多くの人々に親しまれてきました。

一方で時を経る中で、重要文化財をはじめとする出土物を展示、収蔵するスペースが手狭になってきました。そこで展示、収蔵スペースの拡張に加え将来の世界文化遺産登録を見据えた文化庁の基準をクリアすることを目指し、既存建物に新展示収蔵施設が増築されました。建物外観は周辺に溶け込むようにデザインされ、建物内の吹き抜け空間は、出土した縄文土器のかけら5120個がかりばめられた「ビッグウォール」と名づけられた巨大壁を、自然光が差し込む気持ちの良い環境の中で楽しめるよう配慮されています。

## 2. 建物概要

所在地：青森県青森市大字三内宇丸山 215外 363筆

建築主：青森県東青地域県民局

設計・監理：株式会社 梓設計

施工：藤本・今・大阪特定建設工事共同体

建築用途：博物館

敷地面積：377,733.32㎡

建築面積：1,771.27㎡

延床面積：3,037.41㎡

構造：RC造、一部S造

階床数：既存地上2階、地下1階

建屋高、軒高：8.912m

工期：平成28年10月～平成30年3月

竣工：平成30年10月

開業：平成31年4月

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、来客者用エレベーターと、展示品や収蔵品を搬送するバックヤード用エレベーターの2台が設置されています。

来客者用エレベーターの昇降路は、B1と1階をつなぐ吹き抜け空間を取り囲むコンクリート柱に差し込まれたガラス板により構成され、ガラスの直方体が吹き抜け空間を縦に貫いて見えるようになっています。エレベーターは、かごの昇降が乗場から認識できるガラス昇降路であること及び車椅子が回転しないで出入り可能な2停止、二方向出入口であることの2点の条件を加味した必要最低限の機能を満足させるシンプルなデザインにしています。

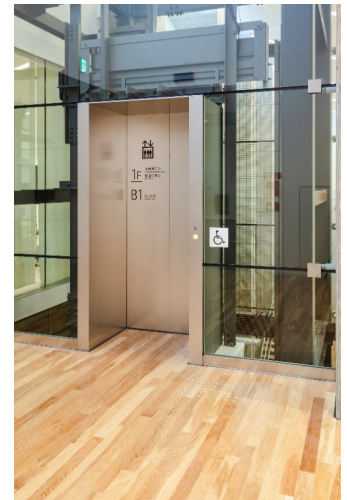
かご内は、天井、壁にガラスとステンレスを用い装飾性を抑え、かご室の床は建築と同じフローリング材を貼ることにより、かごの外と一体感を与えています。

利用者に対しては、乗場呼びによる行先階自動登録機能や一般用と車いす用兼用の操作盤及び壁に多用したガラスによって利便性と開放感を与えるエレベーターとなっています。

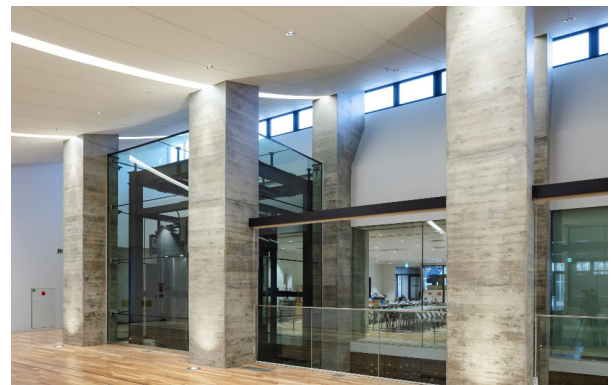
クローズアップ



乗用エレベーター 昇降路外観①



乗用エレベーター1F乗場



乗用エレベーター 昇降路外観②



乗用エレベーター かご室正面



乗用エレベーター かご室側面



乗用エレベーター  
一般用・車いす用兼用操作盤

エレベーター仕様 (計2台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	乗用	インバーター	乗合全自動方式	1250	19	45	1	2 (正面: B1、背面: 1)	三菱	展望用、車いす仕様、2方向出入口
2	人荷用	〃	乗合全自動方式	2000	30	45	1	2 (B1、1)		

クローズアップ



# フォーポイントバイシェラトン 名古屋 中部国際空港

田 島 宏 治

(Koji Tabata)

フジテック株式会社  
中部支社 名古屋支店

建 物 外 観

## 1. はじめに

セントレア島内の中部国際空港まで徒歩6分と好立地に、外資系メジャーブランドホテルとしては初となる「フォーポイントバイシェラトン名古屋中部国際空港」が2018年11月1日に開業しました。

「フォーポイントバイシェラトン名古屋中部国際空港」は、地上12階建てで319室の客室とスイートルームを有します。

客室とスイートルームは、クラシックとモダンを融合した革新的なデザインで、フォーポイントオリジナルのFour Comfort™ベッド、Wi-Fiサービス、50インチテレビ、落ち着いた仕事ができるスペースを特徴とし、ゆったりと過ごしたいひとときにも利用できるホテルです。

また、ホテル内にはレストラン、スポーツバー、24時間営業のフィットネスセンター、軽食やドリンクなどを販売するショップを備えております。

## 2. 建物概要

所在地：愛知県常滑市セントレア四丁目10番5号

建築主：積水ハウス株式会社

設計・監理：株式会社 鴻池組

施工：株式会社 鴻池組

建築用途：ホテル

敷地面積：2,999.98㎡

建築面積：1,344.48㎡

延床面積：14,050㎡

構造：鉄骨造

階床数：地上12階

工期：2017年5月～2018年9月

竣工：2018年9月

開業日：2018年11月1日

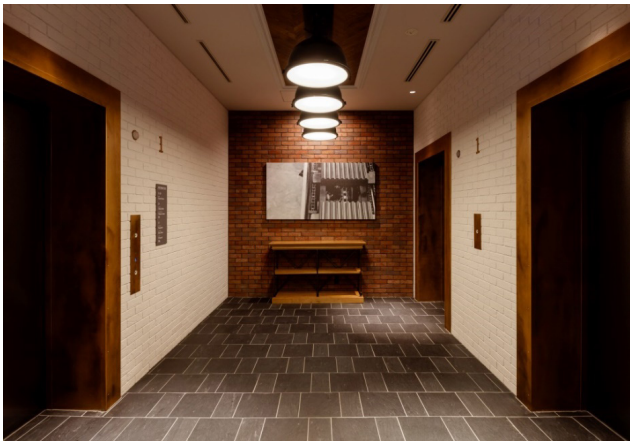
## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、乗用エレベーター3台、人荷用エレベーター2台の合計5台が納入されています。

乗用エレベーターのかご内は、戸及び側壁にブラックカラーステンレスバイブレーション仕上げを採用し、天井は前後に電球形LED照明を取り付け、館内のクラシックな雰囲気と調和した高級感のある落ち着いた空間を演出しています。

乗場意匠は戸を黒色基調とし、白色ベースの壁とのコントラストによりエレベーターの存在を際立たせながらも、硫化いぶしの乗場ボタンプレートがアクセントとなり、エレベーターホール全体を上品な印象に仕上げ、ホテルのクラシックなデザインをより引き立てる空間となっています。

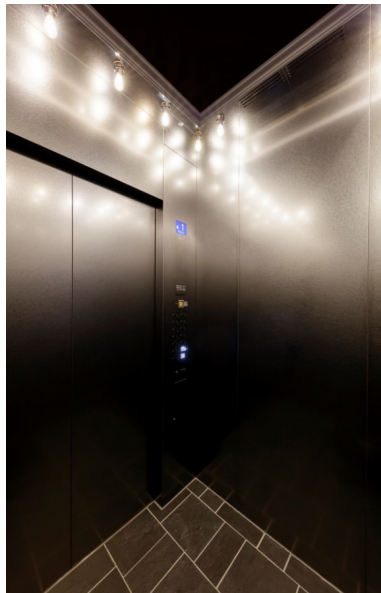
クローズアップ



乗用 1階乗場



乗用 2階乗場



乗用かご内



乗用かご内

エレベーター仕様 (計5台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1～3	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1150	17	105	3	12 (1～12)	フジテック	3号機 車いす仕様
4	人荷共用	〃	乗合全自動方式	1150	17	105	1	13 (1～12、R)		
5	〃	〃	〃	1350	20	105	1	12 (1～12)		

クローズアップ



# 水戸市本庁舎

片岡 潤

(Jun Kataoka)

株式会社 日立ビルシステム  
東関東支社 昇降機部

建物外観

## 1. はじめに

2011年3月の東日本大震災により旧庁舎が被災したため、新庁舎は「安全で市民が快適に利用できる庁舎」をめざして建設され、2018年11月に開庁しました。

新庁舎は免震構造を採用し、非常用発電機や耐震性貯水槽などを設置、さらに1階の床レベルを周辺地盤より1.5m高く設定するなどし、総合防災拠点となる安全性が高い庁舎としています。

1階には、観光情報などを発信するスペースや市民と行政が協働、交流しながら様々な活動を行う空間として、多目的スペースを設置しています。また、誰もが安心して使うことができるように、ユニバーサルデザインの採用や、バリアフリー化を行い、市民に開かれた誰にでも使いやすい庁舎を目指しています。さらに、太陽光の発電、熱源設備への活用、井戸水や雨水の雑用水への利用などを行い、環境に配慮していることも特徴です。

## 2. 建物概要

所在地：茨城県水戸市中央一丁目4番1号

建築主：水戸市

設計・監理：久米・柴建築設計共同企業体

施工：大成・株木・昭和・コスモ・菅原特定建設  
工事共同企業体

建物用途：市庁舎

敷地面積：20,876.29㎡

延床面積：40,942.54㎡

構造：鉄筋コンクリート造

階床数：地下1階、地上8階、塔屋1階

建屋高、軒高：33.12m

工期：2016年6月29日～2018年11月9日

竣工日：2018年11月

開庁日：2018年11月(全体オープンは2019年1月)

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター6台、エスカレーター2台の合計8台が設置されています。

エレベーターは、建物の北側に3台、西側に3台ずつ設置されています。北側の3台は水戸駅方面を眺望できる展望用エレベーターとなっており、建物の外壁窓からエレベーターホールに自然光を取り入れられるように、エレベーターの戸には大型の窓を設置しています。また、即時予約機能付きの群管理運転を採用し、乗車するエレベーターが分かりやすい仕様となっています。

かご内意匠は、ステンレスパイプレーションを基調とした落ち着いた仕上げとしています。

エスカレーターは、トップライトからの自然光により開放的な空間となった建物中央の吹き抜けに設置されています。水平3枚ステップや、落下物防止フェンスを設置した仕様とし、利用者が安心して乗り降りできるよう配慮しています。

昇降機監視盤は庁舎1階の守衛室に設置され、エレベーターやエスカレーターの運行を一元管理しています。

クローズアップ



北側 エレベーター 8階乗場



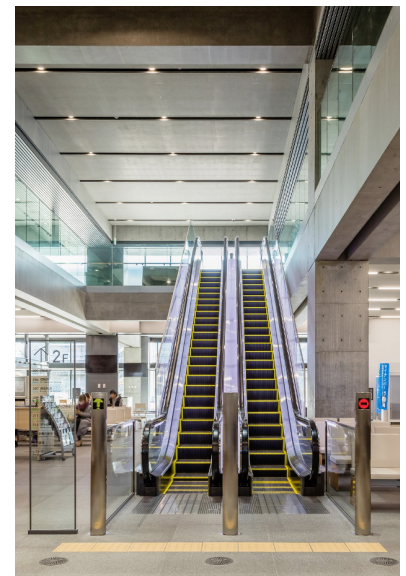
西側 エレベーター 6階乗場



北側 エレベーターかご内 (前)



北側 エレベーター乗場とかご内 (後)



エスカレーター

エレベーター仕様 (計 6 台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
北側	N-01	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1000	15	90	1	9 (B1, 1~8)	日立	車いす仕様
	N-02				1300	20		1			〃
	N-03				1600	24		1			10 (B1, 1~8, PH)
西側	W-04, 05	〃	〃	群乗合全自動方式	1000	15	90	2	7 (1~7)	日立	〃
	W-06	人荷用	〃	乗合全自動方式	1600	24	90	1	9 (B1, 1~8)		〃

エスカレーター仕様 (計 2 台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
ESC1, 2	S600	透明ガラス	20, 30	1-2	5000	2	日立	運転速度 2 段切替

クローズアップ



# ヤオコーサポートセンター（本社）

新 見 将 司

(Masashi Niimi)  
フジテック株式会社  
首都圏統括本部  
北関東支店

建 物 外 観

## 1. はじめに

JR東日本川越駅から徒歩5分、旧本社ビルから徒歩3分の立地に、新たに「ヤオコーサポートセンター（本社）」が2018年11月9日に竣工しました。

株式会社ヤオコーは、埼玉県を中心に首都圏でスーパーマーケットを広く展開しており、新本社ビルは“本社の機能はお店をサポートする役割”という認識の下、「サポートセンター」という名称に改めました。

9階建ての旧本社ビルは、各フロアに部署が分かれているためコミュニケーションが取りにくい課題があったことから、新サポートセンターでは3階建てでフロア面積を広くし、お互いの顔が見えてコミュニケーションが取りやすい環境を目指した設計となっています。

また、施設内には2カ所の光庭とテラスを設けていて、自然の風や光が感じられる、快適で健康的な業務環境を実現しています。

## 2. 建物概要

所在地：埼玉県川越市新宿町一丁目10番地1号

建築主：株式会社 ヤオコー

設計・監理：株式会社 伊東豊雄建築設計事務所

施工：清水建設株式会社

建築用途：事務所

敷地面積：6,039.98㎡

建築面積：3,958.68㎡

延床面積：14,244.65㎡

構造：RC造（耐震壁付ラーメン構造）、PC床構造、鉄骨造（内部柱）

階床数：地下1階、地上3階

建屋高、軒高：14.115m

工期：2017年11月～2018年10月

竣工日：2018年11月9日

開業日：2018年12月3日

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター4台が納入されています。

VIP用エレベーターは、乗場の戸及び三方枠を白色で統一し、三方枠にかご位置表示灯及びボタンを組込むことで、シンプルかつスタイリッシュなデザインとなっています。

また、昇降路の壁にはガラスが採用されており、外部の光を取り込むことで、とても明るいエレベーターホールとなっています。

かご内は、天井にガラスクロスを採用し、戸や側壁にはダークブラウンの木目調化粧シートで仕上げ、明るい中にも落ち着いた雰囲気醸し出しています。

オフィス用エレベーターは、VIP用エレベーターと同じく昇降路壁がガラス構造となっており、M階のエレベーターホールは吹き抜けで明るく開放的な空間となっています。

乗場はVIP用エレベーターのデザインと統一しており、かご内は戸及び側壁に明るいイメージの木目調化粧シートを採用し、全体が明るい色調の仕上げとなっています。



クローズアップ



1号機 (VIP用) エレベーター乗場



1号機 (VIP用) エレベーターかご内



2、3号機 エレベーター乗場



2、3号機 エレベーター乗場



2、3号機 エレベーターかご内

エレベーター仕様 (計4台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	乗用	インバーター	乗合全自動方式	1000	15	60	1	5 (正面: B1、M、2、3、背面: 1)	フジテック	VIP用、車いす仕様、2方向出入口
2、3	〃	〃	群乗合全自動方式	1000	15	60	2	5 (正面: B1、M、背面: 1~3)		車いす仕様、2方向出入口
4	人荷用	〃	乗合全自動方式	1300	20	60	1	3 (1~3)		

昇降機業界で活躍する女性の紹介

*Ele-Komachi*  エレ小町 No.20

1. プロフィール

名 前：長利 心乃  
 な ま え：おさり しの  
 会 社 名：三菱電機株式会社  
 所 属 部 署：稲沢製作所 技術部  
 エレベーター意匠設計課  
 職 種：技術設計  
 入 社 年 度：2011年度



2. 担当業務について

私の所属するエレベーター意匠設計課は、国内・海外における特注形エレベーターの案件毎の受注工事設計と受注前案件の技術支援や事前検討を行っております。

私の担当業務は、かご内と乗場の押ボタン、インジケーター、ホールランタンなど操作表示器具の特殊設計です。お客様からの特殊な要求仕様に対し、技術的な実施可否及びコスト検討を行い、品質、損益改善、納期厳守（QCD）を満足させるよう設計を行っております。昨年には海外赴任を経験し、開発業務や営業設計業務に携わることで、工場内では知り得ない現地の市場や他社製品を実際に目にして学ぶことができました。その経験を活かし、帰国後には海外案件の要求仕様に対する技術支援も行っております。

操作表示器具は目に見えてわかりやすい部分なので、

課題や問題も見つけやすい部分ではありますが、実際に自分の関わった製品が多くの方々に使用されているところを見ると、その度にやりがいと達成感を感じます。今後も、自分の関わった製品にやりがいと愛着を持てるよう邁進していきたいと思っております。

3. 趣味など

私は旅行が好きなので、休日はよく旅行に出かけます。その土地の美味しい料理やお酒を堪能しながら現地の方々と友人と話す時間はとても贅沢に感じます。旅をして気持ちと身体をリフレッシュするだけではなく、出会いを通して見聞を広げられるのも旅の楽しみの1つです。

4. 読者へのメッセージ

国内だけではなく海外においても女性エンジニアはまだまだ少ないのが現状ですが、結婚、出産、育児のライフイベントを経ても働き続けている女性は国内外ともに増えています。性別に関係なく働く機会がある一方で、人それぞれのワークライフバランスを構築できるよう、協力、信頼し合える職場環境が女性にとっては特に大事であると感じております。日頃の仕事に対する謙虚な姿勢と感謝する気持ちが周囲の信頼と信用に繋がると信じ、日々の業務を頑張っていきたいと思っております。

5. 上長のコメント

長利さんは海外での業務経験をもつ数少ない設計者で関係者から頼りにされている貴重な存在です。

設計の職場はまだまだ女性は少ないですが、エレベーターを使う人の半数は女性です。女性視点も取り入れ、製品をよりよくしていくこともエレベーターとしてこれからは必要です。明るく、前向きな長利さんなら、必ず、いろいろな意見を出し、良い製品につなげていくくれるはず。今後の活躍とこれからの製品を楽しみにしています。

昇降機業界で活躍する女性の紹介

*Ele-Komachi*  エレ小町 No.21

1. プロフィール

名 前：早川 絵梨子  
 な ま え：はやかわ えりこ  
 会 社 名：三菱日立ホームエレベーター株式会社  
 所 属 部 署：技術部 開発課  
 職 種：意匠開発  
 入 社 年 度：2001年度



2. 担当業務について

私が所属している開発課では、新製品の開発設計、品質改善や原価低減活動など、製品に直結する仕事をしています。私は意匠設計を担当しており、製品の意匠部分や照明部分などを担当しています。特に照明器具などの電気関係部品は入れ替わりも多く製品仕様にあったものを探すのに大変苦労します。

常に気をつけていることは、どんなことにも興味を持って取り組むことです。新しい製品を開発するときには、新製品や新技術など出来るだけたくさん引き出しがあるほうが、より良いアイデアを出しやすいので、仕事に直接関係があるないに関わらず、常にアンテナを張って新しい技術や情報などを探しています。

3. 趣味など

趣味は高校生のときから続けている吹奏楽です。かれ

これ20年以上も楽器を続けています。少しずつ変化する環境の中で同じものを長い間続けるのは正直大変ですが、私生活の大半を楽器仲間と過ごし、充実した日々を送っています。

また、長い間楽器を吹くことを一番の趣味としていましたが、年を重ねるごとに様々なことにチャレンジしてみたいとここ数年は奮起。夏は登山、冬はスキーと体を動かすことにもチャレンジしています。広く人との繋がりを作ることで、自分が成長できる場として趣味はなくてはならないものとなっています。

4. 読者へのメッセージ

私の職場は私以外男性ばかりです。力では到底及ばないことはいくらでもありますし、知識だって毎日が勉強の日々です。それでも仕事をこなしていく中で出来ることを増やして行っています。私が仕事に取り組む上で大事にしていることは、「自分出来ることはなんでも取り組む！出来ないことにはなんでも挑戦する！」です。人は経験を重ねるほどに出来ることが増えていきます。目の前に転がってきた物事に対して「自分は何が出来るだろうか。どんな工夫をしたらうまくいくだろうか。」失敗を恐れずに物事に取り組むことで自分の世界を広げて行って、今よりもさらに様々な仕事をこなしていけるように頑張りたいと思います。

5. 上長のコメント

エレベーター試験棟などで男性社員に交じって作業をしている姿を見ると、体力的な面で少し心配に思う反面、てきぱきとした動作にいつも感心させられています。

これからも趣味などを通じて人としての魅力を高めていただき、同僚や関係部門の方々とより良い人間関係を築き、ご自身が納得できる業務の成果に繋がることを期待しています。

協会記事

11月10日  
「エレベーターの日」  
やさしい心 ありがとう  
キャンペーン実施報告  
2018年度



ベータくん エスカちゃん

当協会は、11月10日「エレベーターの日」に合わせ、健常な方も、障がいがある方も、高齢の方も、子どもたちも、全ての方がエレベーター、エスカレーターを安全で快適にご利用いただけるように「やさしい心 ありがとう」キャンペーンを全国で実施しました。

当協会本部及び各支部が全国で実施した内容は、次のとおりです。

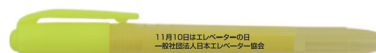
1. 街頭キャンペーン等による呼びかけ

「エレベーターの日」に次の表1に示す場所で、エレベーター、エスカレーターの安全利用リーフレット、全国統一ポスターをデザインしたポケットティッシュ及び蛍光ペン（以下「キャンペーン品」という。）又は、ポケットティッシュを全国10ヶ所にある支部、支所関係者又は鉄道事業者各社局のご協力を得て53,898個配布し、エレベーター、エスカレーターの安全な利用について呼びかけました。



エレベーター、エスカレーターの安全利用リーフレット

☆☆ キャンペーン品 ☆☆



蛍光ペン

ペン軸に「11月10日はエレベーターの日」の文字入り



ポスターデザインのポケットティッシュ

表1 街頭キャンペーン等の実施日、実施場所及び実施内容

地域	実施日	実施場所	実施内容	担当支部等	参加人数合計
札幌市	11月8日 17:00から 18:00まで	札幌市交通局 地下鉄の大通駅構内 (東西線、東豊線改札及び 地下1階コンコース付近)	キャンペーン品10,000セットを配布し、 昇降機の安全利用を呼びかけました。	札幌市交通局 北海道建築指導センター 北海道支部	34名
仙台市	10月中旬から 11月まで	東北百貨店協会加盟店 8社(さくら野百貨店、川 徳、そごう・西武、仙台 三越、藤崎、中合、うす い百貨店、大沼)	東北百貨店協会加盟店8社15店舗でキャン ペーンポスターデザインのポケット ティッシュを12,000個配布し、エスカ レーターの安全利用を呼びかけました。	東北百貨店協会加盟店 8社15店舗	—
	11月13日 10:00から 10:30まで	東日本旅客鉄道 仙台駅構内 (東北新幹線中央、南改 札、在来線中央、東口改 札付近)	キャンペーン品を5,000セット配布し、 昇降機の安全利用を呼びかけました。	東日本旅客鉄道 東北支部	39名

協会記事

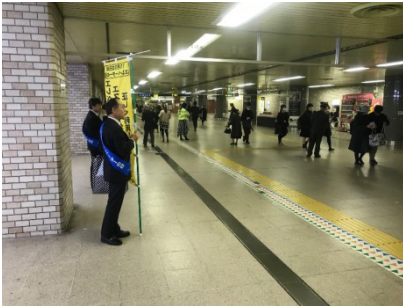
長岡市	11月9日 7:45から 8:20まで	東日本旅客鉄道 長岡駅構内 (在来線、新幹線改札付近)	キャンペーンポスターデザインのポケットティッシュを1,000個配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	東日本旅客鉄道 新潟県支所	15名
渋谷区	11月9日 10:00から 10:55まで	東京急行電鉄 渋谷駅構内 (ヒカリエ1及びヒカリエ2改札付近)	キャンペーン品2,000セットを配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	東京急行電鉄 広報委員会 本部	13名
横浜市	11月8日 10:00から 10:30まで	東京急行電鉄 横浜駅構内 (正面、南改札付近)	キャンペーン品1,500セットを配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	東京急行電鉄 神奈川県支所 本部	11名
	11月9日 15:00から 16:30まで	東日本旅客鉄道 関内駅 南口及び北口改札付近	キャンペーン品2,000セットを配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	神奈川県建築安全協会 神奈川県支所	17名
名古屋市	11月12日 8:00から 9:00まで	名古屋市交通局 桜通線久屋大通駅 ホーム上	みんなで手すりにつかまろうポケットティッシュ1,300個を配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	名古屋市交通局 東海支部	9名
金沢市	11月9日 14:30から 15:30まで	西日本旅客鉄道 金沢駅 駅前東口 もてなしドーム内	キャンペーン品2,500セットを配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	北陸支部	20名
大阪市	11月9日 9:30から 11:00まで	阪急電鉄 梅田駅2階中央 改札前及び3階改札前コ ンコース	キャンペーン品5,000セットを配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	関西支部 アビ	12名
広島市	11月9日 13:30から 14:30まで	広島市 八丁堀交差点付近	キャンペーンポスターデザインのポケットティッシュ3,000個を配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	中国・四国支部	18名
岡山市	11月9日 11:00から 12:00まで	西日本旅客鉄道 岡山駅 東口駅前広場	キャンペーンポスターデザインのポケットティッシュ1,500個を配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	中国・四国支部	12名
高松市	11月9日 11:00から 12:00まで	高松市 サンポート敷地内	キャンペーンポスターデザインのポケットティッシュ1,500個を配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	中国・四国支部	12名
松山市	11月9日 11:00から 12:00まで	松山市 三越大街道側入口付近	キャンペーンポスターデザインのポケットティッシュ1,500個を配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	中国・四国支部	11名
福岡市	11月6日 17:30から 18:30まで	福岡市交通局 天神駅構内 改札付近	キャンペーン品2,000セットを配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	福岡市交通局 九州支部	20名
	11月8日 10:00から 11:00まで	西日本鉄道 西鉄福岡(天神)駅 改札付近	キャンペーン品2,000セットを配布し、昇降機の安全利用を呼びかけました。	西日本鉄道 九州支部	22名
浜松市	11月7日	浜松市教育委員会管轄の 小学校 (96校)	「エレベーター、エスカレーターはルールを守って正しく乗しましょう」と印字したバスケットボール(98個)を浜松市内の小学校に寄贈し、昇降機の安全利用を周知しました。	東海支部	3名

参考：2016年参加人数203名、配布数53,953個、2017年261名、配布数59,380個

総合計  
268名

協会記事

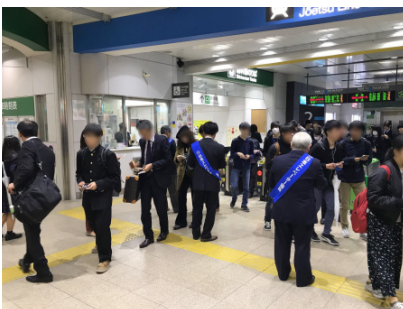
11月8日 札幌市交通局 大通駅構内(北海道支部)



11月13日 東日本旅客鉄道 仙台駅構内(東北支部)



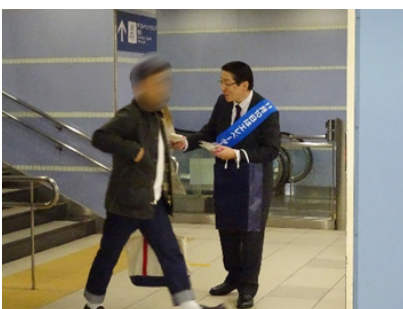
11月9日 東日本旅客鉄道 長岡駅構内(新潟県支所)



11月9日 東京急行電鉄 渋谷駅構内(広報委員会、本部)



11月8日 東京急行電鉄 横浜駅構内(神奈川県支所、本部)



協会記事

11月9日 東日本旅客鉄道 関内駅 南口及び北口改札付近(神奈川県支所)



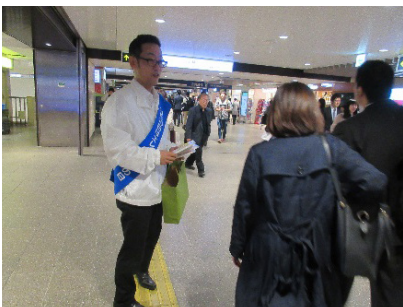
11月12日 名古屋市交通局 久屋大通駅(東海支部)



11月9日 西日本旅客鉄道 金沢駅前東口 もてなしドーム内(北陸支部)



11月9日 阪急電鉄 梅田駅 2階中央改札前コンコース、3階改札前コンコース(関西支部)



11月9日 広島市 八丁堀交差点付近(中国・四国支部)



高松市 サンポート敷地内(中国・四国支部)



協会記事

11月9日西日本旅客鉄道岡山駅 東口駅前広場 (中国・四国支部)



岡山市 三越大街道側入口付近 (中国・四国支部)



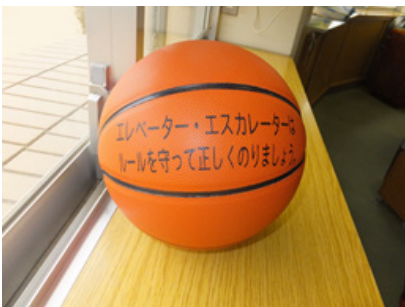
11月6日 福岡市交通局 天神駅改札付近 (九州支部)



11月8日 西日本鉄道 西鉄福岡(天神) 駅改札付近 (九州支部)



11月7日 浜松市立小学校の中から東小学校に訪問し、バスケットボールを贈呈しました。(東海支部)



10月から11月まで 東北百貨店協会加盟店8社15店舗でポケットティッシュを配布いただきました。



仙台三越



さくら野百貨店 弘前店



さくら野百貨店 青森本店



協会記事

2. 全国統一ポスター及びステッカーの作成

2018年度のキャンペーンポスター及びステッカーは、当協会のマスコットキャラクターのベータくんとエスカちゃん  
とが「やさしい心 ありがとう」とエレベーター、エスカレーターへの安全な利用を呼びかけるデザインとしました。ま  
た、ポスターの下部には、本キャンペーンの主催者名、後援名及び協賛の団体名を記載しました。

<後援> 国土交通省

<協賛団体>

一般財団法人北海道建築指導センター

一般社団法人東北ブロック昇降機検査協議会

一般社団法人東京都昇降機安全協議会

一般財団法人神奈川県建築安全協会

一般社団法人中部ブロック昇降機等検査協議会

一般社団法人近畿ブロック昇降機等検査協議会

一般社団法人中国四国ブロック昇降機検査協議会



全国統一ポスター



ステッカー

2.1 全国統一ポスター又はステッカーでの車内広告等

鉄道車両等の中に全国統一ポスター又はステッカーで広告しました。

表2 ポスター等の当協会の広告の期間及び場所等

地域	期間	掲示場所		広告
北海道	11月5日 - 11月10日	北海道旅客鉄道	普通電車内 (札幌 - 新千歳空港)	ポスター
	11月8日 - 11月10日	札幌市交通局	市営地下鉄電車内	
	11月4日 - 11月10日	函館市企業局交通部	市電の電車内	
	11月4日 - 11月10日	旭川電気軌道	旭川市内路線バス車内	
	11月4日 - 11月10日	くしろバス	釧路市内路線バス車内	
	11月4日 - 11月10日	十勝バス	帯広市内の路線バス車内	
東北	11月7日 - 11月9日	仙台市交通局	地下鉄南北線、東西線の電車内	ステッカー
	11月7日 - 11月9日	仙台市交通局	バス車内	
	11月7日 - 11月9日	仙台空港鉄道	空港アクセス線の電車内	
関東甲信越	11月1日 - 11月30日	東武鉄道各線	東武鉄道の電車内	ポスター
	11月5日 - 11月10日	東日本旅客鉄道	新潟駅構内	
	10月19日 - 11月18日	横浜市交通局	電車内広告	
関西	11月1日 - 11月15日	大阪高速鉄道	電車内	ポスター
	11月1日 - 1月31日			ステッカー
九州	10月1日 - 12月31日	福岡市交通局	天神南駅、箱崎宮前駅	電照看板

鉄道車両等のポスター掲出の一部を紹介します。



北海道旅客鉄道



札幌市交通局 市営地下鉄



函館市企業局交通部 市電

協会記事



旭川市電気軌道 バス



くしろバス



十勝バス



仙台市交通局 地下鉄南北線



仙台市交通局 市営バス



仙台空港鉄道 仙台空港アクセス線



東日本旅客鉄道 仙山線



東日本旅客鉄道 東北本線



東武鉄道 東上線



東日本旅客鉄道 新潟駅



横浜市交通局 ブルーライン



福岡市交通局 電照看板



大阪高速鉄道 大阪モノレール

協会記事

2.2 掲示板等でのポスター掲出

鉄道事業者（30社局）及び協会（4団体）、札幌市（203校）及び浜松市立小学校（96校）、福岡市立幼稚園（2園）、東北百貨店協会加盟店（8社13店舗）、札幌市消防局、大阪市消防局、札幌市民防災センター等のご協力をいただき、ポスターの掲出、キャンペーン等を表3のとおり実施しました。

なお、実施開始時期及び掲出期間は、各事業者に一任しました。

表3 ご協力事業者様及び実施内容

(1) キャンペーンの実施及びポスターの掲出

地域	事業者名等	実施内容等	
北海道	札幌市交通局	キャンペーン品を当協会と共同配布	大通駅構内
		事業者名入りポスター	駅構内等
東北	東北百貨店協会	ポケットティッシュ配布	東北百貨店協会加盟店（8社15店舗）
東北 新潟	東日本旅客鉄道	キャンペーン品を当協会と共同配布	仙台駅構内、長岡駅構内
		全国統一ポスター	仙台支社及び秋田支社内の駅構内等
関東	東京急行電鉄	キャンペーン品を当協会と共同配布	東京駅、品川駅、新宿駅、池袋駅、上野駅、松戸駅の6駅の駅構内等
		全国統一ポスター	横浜駅及び渋谷駅構内
東海	名古屋市交通局	ポケットティッシュを当協会と共同配布	各駅構内等
		事業者名入りポスター	久屋大通駅構内
九州	福岡市交通局	キャンペーン品を当協会と共同配布	天神駅構内
		事業者名入りポスター	駅構内及び車内等
	西日本鉄道	キャンペーン品を当協会と共同配布	西鉄福岡（天神）駅構内
		事業者名入りポスター	駅構内等

(2) 全国統一ポスターの掲出

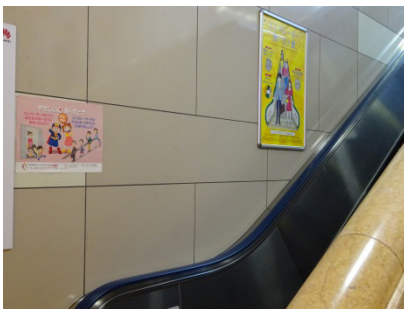
地域	事業者名等	実施内容等	
北海道	札幌市民防災センター	掲示板等	
	札幌市立小学校	203校（分校含む）の校内	
関東	小田急電鉄	駅構内等	
	埼玉高速鉄道		
	新京成電鉄		
	京成電鉄		
	西武鉄道		
	東京急行電鉄		
	東京地下鉄		
	東京都交通局		
	東武鉄道		
	東葉高速鉄道		
	北総鉄道		
	埼玉県建築安全協会		事務所内、会員向け配布
	東京都理学療法士協会		事務所内、会員向け配布
日本地下鉄協会	事務所内等		
東海	浜松市立小学校	96校の校内	
関西	大阪市消防局	掲示板等	
	大阪高速鉄道	駅構内等	
	北大阪急行		
	京都市交通局		
	神戸空港	空港内	
	神戸市交通局	駅構内等	
	神戸新交通		
	阪急電鉄		
中国 四国	高松琴平電気鉄道		
九州	広島高速交通	2園の園内	
	福岡市立幼稚園		
	福岡市交通局		

協会記事

(3) 事業者名等の名前入りポスターの掲出

地域	事業者名等	実施内容等
北海道	札幌市消防局	掲示板等
	札幌市交通局	
東北	東北百貨店協会 会員の百貨店	掲示板等 (エスカレーターのポスター)
	仙台市交通局	
関東	横浜市交通局	駅構内等
東海	名古屋市交通局	
関西	大阪高速鉄道	
九州	西日本鉄道	
	福岡市交通局	

次に、駅構内等のポスター掲出等の一部を紹介します。



東日本旅客鉄道 東京駅



東京都交通局 新宿三丁目駅



東京都交通局 曙橋駅



東京地下鉄 表参道駅



東京地下鉄 霞ヶ関駅



横浜市交通局 静止画放映



名古屋市交通局 栄駅



サービスカー等にステッカーを貼付しエレベーターの日を周知しました。



さくら野百貨店 八戸店



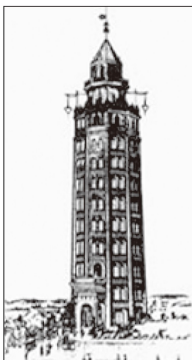
さくら野百貨店 北上店



仙台三越

協会記事

3. 新聞広告の掲載（掲載日：11月10日）神奈川県支所：毎日新聞神奈川版に広告を掲載しました。



凌雲閣(りょううんかく)

**11月10日は「エレベーターの日」**

**「やさしい心ありがとう」**  
**キャンペーンを実施中!**

一般社団法人日本エレベーター協会関東支部 神奈川県支所

日本初の電動式エレベーターは、1890年（明治23年）11月10日、東京の浅草に完成した。階建ての展望塔「凌雲閣（りょううんかく）」に設置されました。この11月10日を、当協会では1979年に「エレベーターの日」と定めました。2018年3月末現在で、エレベーターが約80万台、エスカレーターが約7万1千台稼働しています。（当協会の調査による。）

そして、エレベーター、エスカレーターは、ビルの高層化、高齢化、高福祉社会の進展を背景にますます必要不可欠な存在となっています。

エレベーター、エスカレーターは便利な縦の交通手段であり、健常な方も、障がいがある方も、高齢の方も、子どもたちも、全ての方が安全に、安心してご利用いただくため、当協会ではこの「エレベーターの日」を機会に、安全な利用方法についてお知らせする活動を毎年行っています。

詳しくは協会のホームページをご覧ください。  
<http://www.n-elekyo.or.jp>

4. キャンペーン取材等

北陸支部：建設工業新聞社から街頭キャンペーンの取材を受け、11月10日付の紙面に掲載されました。



金沢駅もてなしドームで行われたキャンペーン=9日

エレベーターの日 金沢で街頭キャンペーン

**安全利用へPR展開**

日本エレベーター協会北陸支部

日本エレベーター協会北陸支部（村上市高久支部長）は9日、「エレベーターの日」（11月10日）の行事として、金沢市の金沢駅東口「もてなしドーム」内で街頭キャンペーンを実施した。

エレベーターの日は、明治23年（1890年）11月10日に東京浅草の「凌雲閣」で我が国初のエレベーターが公開されたのを記念して定められたもの。同協会では、1979年から毎年この日に合わせて様々な行事を行っている。

金沢でのキャンペーンは、昇降機の社会的役割と重要性をアピールし、一般の人に安全利用の認識をさらに高めてもらうことを目的に毎年実施している。

この日は、同支部員企業から22名が参加。揃いの半被を着て、通行人約2500人にポケットティッシュと蛍光灯エレベーターの安全な利用についての注意点を記したチラシのセットを配布し、PR活動を展開した。

5. 「アンケートに答えて当てよう！」抽選で図書カードをプレゼント

当協会ホームページ（<http://www.n-elekyo.or.jp>）で、エレベーター、エスカレーターの安全利用に関するアンケートを次のとおり実施しました。皆様のご協力、ありがとうございました。

アンケートの結果は、当協会のホームページのトップページ「お知らせ」欄に掲載しています。

応募期間：2018年11月1日から2019年1月15日まで

応募数：10,864名

なお、応募者の中から厳正な抽選により、50名様に図書カード（1,000円分）を贈呈しました。

協会記事

## 大阪府北部を震源とする地震の昇降機被害調査結果

### 1. はじめに

2018年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震によるエレベーター及びエスカレーターの被害について、当協会正会員から報告を受けた内容をまとめたので報告します。

### 2. 調査について

#### (1) 対象地震

次の地震を対象にしています。

2018年6月18日 7時58分頃発生

大阪府北部を震源とする地震

(最大震度：6弱、マグニチュードM6.1)

#### (2) 調査地域

(1) 項に記載した地震により、震度4以上を観測した地点が存在した次の10府県としました。

調査結果を表1 調査対象府県に示します。

表1 調査対象府県

対象	最大震度	対象	最大震度	対象	最大震度	対象	最大震度	対象	最大震度
大阪府	6弱	京都府	5強	滋賀県	5弱	兵庫県	5弱	奈良県	5弱
福井県	4	岐阜県	4	愛知県	4	三重県	4	香川県	4

#### (3) 対象昇降機

地震発生当時に当協会正会員と保守契約を締結していた、小荷物専用昇降機を除いたエレベーター及びエスカレーターで、被害状況が確認できたものとししました。

#### (4) 調査方法

7月23日から9月15日まで、当協会正会員に次の内容について調査票を送付して回収しました。調査内容は、個々の被害事例ではなく、平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震及び平成28年（2016年）熊本地震の調査票をもとに項目をあらかじめ設定してその中から選択する方法で実施しました。

集計件数では1台に複数件の被害があった場合、全ての被害が報告されている場合と、主な被害だけ報告されている場合とがあります。調査内容及び被害状況を表2 調査内容及び被害状況に示します。

表2 調査内容及び被害状況

No.	調査内容	被害状況
1	エレベーターの被害状況	(1) 人身事故の有無と状況 (2) 閉じ込め台数 (3) 物損状況 (4) 地震時管制運転装置の有無
		(1) 被害報告なし (2) 362台 (3) 表3及び表4による (4) 表7による
2	エレベーターの耐震基準別被害発生状況（件数）	表3による
3	エスカレーターの被害状況	(1) 人身事故の有無と状況 (2) 物損状況
		(1) 被害報告なし (2) 表3及び表5による
4	エスカレーターの耐震基準別被害発生状況（件数）	表3による

協会記事

3. 被害状況

被害は、震源である大阪府を中心に近隣の京都府及び兵庫県で発生しており、震度4の地域では発生していませんでした。

調査結果は、次に示すとおりです。なお人身事故の報告はありませんでした。

- (1) エレベーター及びエスカレーターの耐震基準別被害件数及び被害率：表3 調査完了台数及び被害件数
- (2) エレベーターの物損項目別被害件数：表4 エレベーターの被害件数
- (3) エスカレーターの物損項目別被害件数：表5 エスカレーターの被害件数
- (4) かご又は釣合おもりの脱レールにおける耐震基準別被害発生比較：表6 かご又は釣合おもりの脱レール被害の耐震基準別比較
- (5) 地震によるエレベーター被害の被害件数詳細：表7 大阪府北部を震源とする地震によるエレベーター被害件数詳細

耐震基準については対象耐震基準適用年月以降に設置したエレベーター又はエスカレーターで分類したため、必ずしも該当耐震基準に準拠したものではないものも含まれている可能性があります。

4. おわりに

今回は、当協会正会員全社に対して、2018年7月から10月にかけて行った調査結果を紹介したものです。14耐震基準で対策を行った表4のおもりブロック脱落、表6の09耐震基準で強化した脱レール対策及び表3に示したように震度4の地域での被害発生はなく、耐震設計の効果が出ていると言えます。この調査結果を基により安全で安心な昇降機の実現に向け、検討等を行う予定です。

表3 調査完了台数及び被害件数

対象	耐震基準	エレベーター		エスカレーター		対象	震度	エレベーター		エスカレーター	
		台数, 件数	被害率 (B/A%)	台数, 件数	被害率 (B/A%)			台数, 件数	被害率 (B/A%)	台数, 件数	被害率 (B/A%)
調査完了台数 (A)	14 耐震	25,630	—	1,623	—	調査完了台数 (A)	6 弱	75,826	—	7,799	—
	09 耐震	28,148	—	2,703	—		5 強	17,459	—	1,758	—
	98 耐震	78,895	—	7,721	—		5 弱	50,675	—	4,904	—
	81 耐震	67,296	—	98 耐震以前 9,157	—		4	72,875	—	6,743	—
	81 耐震前	16,866	—		—		—	—	—	—	—
	合計	216,835	—	21,204	—		合計	216,835	—	21,204	—
被害件数 (B)	14 耐震	43	0.17	33	2.03	被害件数 (B)	6 弱	647	0.85	139	1.78
	09 耐震	83	0.29	23	0.85		5 強	33	0.19	3	0.17
	98 耐震	281	0.36	85	1.10		5 弱	49	0.10	17	0.35
	81 耐震	205	0.30	98 耐震以前 18	0.20		4	0	0.00	0	0.00
	81 耐震前	117	0.69				—	—	—	—	—
	合計	729	0.34	159	0.75		合計	729	0.34	159	0.75

協会記事

表4 エレベーターの被害件数

物 損 項 目		件数
1	機械室機器の破損	7
2	ロープの外れ	3
3	主索、ケーブル類の引っ掛かり	75
4	レール、ブラケット又はガイドシユールの変形	103
5	脱レール	127
6	おもりブロック脱落	0
7	昇降路内機器損傷	19
8	乗り場装置破損	88
9	かご機器破損	157
10	油圧機器破損	6
11	建物損壊による被害	11
12	冠水又は浸水被害	52
13	その他	81
合計		729

表5 エスカレーターの被害件数

物 損 項 目		件数
1	位置ずれ	13
2	本体の落下	0
3	トラスの変形	2
4	欄干（ガラス、パネル）の破損、脱落又は位置ずれ	5
5	欄干照明の落下	0
6	移動手すり用レールの曲り又は破損	1
7	デッキボードの曲り若しくは破損、又はスカートガードの曲り若しくは破損	7
8	ステップの破損	0
9	乗降板の破損	43
10	制御盤の移動又は落下	0
11	駆動機の移動又は落下	0
12	チェーン類の切断又は破損	0
13	冠水	15
14	その他外部要因による損傷	0
15	外装板の外れ若しくは脱落、又は外装照明の外れ若しくは脱落	2
16	利用者に対する安全対策（三角部ガード等）の脱落	0
17	その他	71
合計		159

表6 かご又は釣合おもりの脱レール被害の耐震基準別比較

設計基準	81 耐震前	81 耐震	98 耐震	09 耐震	14 耐震	合計
設置台数	16,866	67,296	78,895	28,148	25,630	216,835
釣合おもり脱レール [発生率]	56 [0.30%]	36 [0.05%]	19 [0.03%]	7 [0.03%]	0 [0.00%]	118 [0.05%]
かご脱レール [発生率]	1 [0.01%]	4 [0.01%]	3 [0.00%]	0 [0.00%]	1 [0.00%]	9 [0.00%]
脱レール発生比 [釣合おもり：かご]	56：1	9：1	6：1	7：0	0：1	13：1



協会記事

表7 大阪府北部を震源とする地震によるエレベーター被害件数詳細

		地震感知器															合計
		81 耐震基準前			81 耐震基準			98 耐震基準			09 耐震基準			14 耐震基準			
		なし	あり	計	なし	あり	計	なし	あり	計	なし	あり	計	なし	あり	計	
1	巻上機又は電動発電機の転倒、移動若しくは破損	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
2	制御盤の転倒又は破損	0	0	0	1	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	3
3	調速機の転倒又は破損	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2
4	主索の外れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	調速機ロープの外れ	1	0	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	3
6	調速機ロープの引っ掛かり、絡み又は損傷	1	3	4	12	6	18	3	8	11	0	3	3	0	1	1	37
7	機械室内チェーン類の外れ又は損傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	釣合おもりの脱レール	15	41	56	11	25	36	4	15	19	1	6	7	0	0	0	118
9	釣合おもりブロックの脱落又は落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	かごの脱レール	0	1	1	1	3	4	0	3	3	0	0	0	0	1	1	9
11	ガイドレールの変形(かご側)	0	0	0	0	0	0	4	1	5	2	0	2	0	0	0	7
12	ガイドレールの変形(釣合おもり側)	0	2	2	2	2	4	0	4	4	0	0	0	0	1	1	11
13	レールブラケットの変形(かご側)	0	0	0	3	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4
14	レールブラケットの変形(釣合おもり側)	2	0	2	0	1	1	0	3	3	0	0	0	0	0	0	6
15	ガイドシューの変形(かご側)	1	1	2	2	3	5	0	8	8	0	2	2	0	1	1	18
16	ガイドシューの変形(釣合おもり側)	3	5	8	8	4	12	1	22	23	0	7	7	0	5	5	55
17	レールブラケットアンカーボルトの抜け出し	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
18	主索の引っ掛かり、絡み又は損傷	1	2	3	2	1	3	1	10	11	0	3	3	0	3	3	23
19	移動ケーブルの引っ掛かり、絡み、損傷又は切断	0	0	0	1	3	4	1	8	9	0	1	1	0	0	0	14
20	釣合ロープ、チェーンの引っ掛かり、絡み、損傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	スチールテープの引っ掛かり、絡み又は損傷	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22	昇降路ピット内機器類の脱落、落下又は破損	3	1	4	7	3	10	0	1	1	0	4	4	0	0	0	19
23	乗場装置の脱落、落下又は破損	1	2	3	6	22	28	2	31	33	0	8	8	0	5	5	77
24	乗場三方枠又は幕板の変形破損	2	0	2	0	1	1	0	7	7	0	0	0	1	0	1	11
25	かご室、かご戸又はかご枠等の変形若しくは破損	6	3	9	3	13	16	4	52	56	1	18	19	0	10	10	110
26	かご内機器の脱落又は破損	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	4
27	かご上下機器の破損	2	2	4	3	7	10	1	17	18	0	3	3	0	8	8	43
28	パワーユニットの転倒、移動又は破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	パワーユニット(タンク)からの油漏れ又はこぼれ	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
30	油圧配管の油漏れ	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2
31	油圧配管の破損、変形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
32	プランジャーの傾斜、転倒又は曲がり	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
33	機械室又は昇降路壁等の崩落若しくは落下による機器の損傷	0	2	2	3	4	7	0	0	0	0	1	1	0	1	1	11
34	冠水、浸水又は津波による被害	0	9	9	0	9	9	2	24	26	0	5	5	0	3	3	52
35	その他	2	0	2	8	19	27	5	30	35	5	11	16	0	1	1	81
	合計	42	75	117	77	128	205	33	248	281	9	74	83	1	42	43	729

読者からの寄稿 <ミスターEのアメリカエレベーター情報>

## 第7回「アメリカンエレベーター病」前編

こんにちは、ミスターEです。今回は主にアメリカに行った時、またはアメリカのエレベーター業界にいるとかかかってしまう病気を取り上げます。「はは〜ん、エレベーターを見るたびに、どこのメーカーか？と思う職業病のことだな。」とお思いでしょうか？裏をかいてそれは取り上げません。さてこれから紹介する7つのエレベーターにまつわる病気、日本の業界のあなたはいくつかかりそうですか？

### 1. エレベーター安全注意欠如障害

NAESA（全米エレベーター安全局）の常任理事であるボブ・シェパードさん（写真1）が命名したエレベーター関係者がかかるといふ病気（障害）です。Elevator Safety Attention Deficit Disorder略してESADD（イーサッド）。頭のE（エレベーター）と最後のD（病気）の間にSAD（悲しい）が入り込んでいます。



写真1 NEASA 常任理事 ボブ・シェパードさん

エレベーターメンテナンス、検査中でも容赦なくやってくる電話やメール。私たちの生活から携帯電話やスマートフォンは切っても切れない存在になっていますが、本来は便利になった分、時間に余裕を生みだすものだったはず。なのに、応答や返信をしなければならない

プレッシャーにさらされ、時には作業への集中を奪う「気がかりを運ぶ道具」にもなっています。私もエレベーター検査中に携帯電話に出たあと、検査道具を忘れてかご上に乗ったりして、時間を失うことがあります。

「安全が最も大事」と常に呼びかけるボブさんが、エレベーター業界で働く人たちに警鐘を鳴らす意味でつけたのがこの病名です。電話やメールに応答中、昇降路のドアが開いたままになっていませんか？電気配線が外れたままになっていませんか？その文明の利器は一步間違えば、重大な結果をもたらす恐ろしいものでもあります。「悲しい」ことにならないよう気をつけましょう。

私はほとんどいつでも、かかってきた携帯電話に、すぐに出ることが許される風潮が不思議です。相手の都合を知らずにかけてきた電話が優先され、そのほかの多くの人たちの時間が奪われる。誰も口には出さないけど、心の中でムツとしているんじゃないでしょうか。

また、スマートフォンを仕事中に操作することも、市民権を得ているかもしれません。調べ物をするのは仕事のクオリティをあげるために許されるのでしょう。しかし、その中のいくつかは、家庭の最強ボスからの「帰りに醤油を買ってきてなさい！」指令に応答をしているのかも…。内容が表に出ないからわからないものの、スマホが普及してから、誰もが真顔で演技する「俳優 女優病」にかかっているかもしれませんね。

### 2. 巨大国土症候群

日本でも山奥のダムに数時間かけて、メンテナンスに行く方たちがいらっしやると聞いています。アメリカは国土が広大なので、もっと移動に時間がかかります。たとえばフロリダ州にいる検査官は、片道9時間かけて隣の隣にある州、ルイジアナ州まで1人で自動車を運転。1

読者からの寄稿 <<ミスターEのアメリカエレベーター情報>>

台のエレベーターの検査に行くことがあるそうです。帰りも9時間。それでも日帰りですって。

遠くへ行くパターンでは、カリフォルニア州のサンディエゴからコロラド州などがあります。当然航空機を利用します。ハワイの人手が足りない時期には、東海岸のワシントンDCから応援に行ったことがあるそうです(イラスト1)。航空機に直行便はなく、家から現場までの移動はおよそ14~16時間。それでもまだ国内です。

グアムの検査官の手が足りなくなった時は、フロリダ州の検査官のひとりが、ロサンゼルスとホノルルで飛行機を2回乗り継ぎ、まる24時間かけて検査に行ったそうです。その人はエコノミークラスの狭い席に耐え切れず、自腹で広い席にアップグレード。「出張手当も軽く飛んで行ったよ。」と言って笑っていました。さらに彼らはキューバ、バハマ、プエルトリコなど外国にも検査に行きます。パスポートを忘れたら入国できず、帰るだけです。

アメリカは国の中に最大6時間の時差があり、東西に移動すると時差ボケします。時差ボケが治った直後に帰るスケジュールだと、体内時計は狂っぱなしです。検査の所要時間に比べた移動時間の長さは、国土が広いゆえにどうしようもありません。体調管理に努めないと本物の病気になってしまいます。

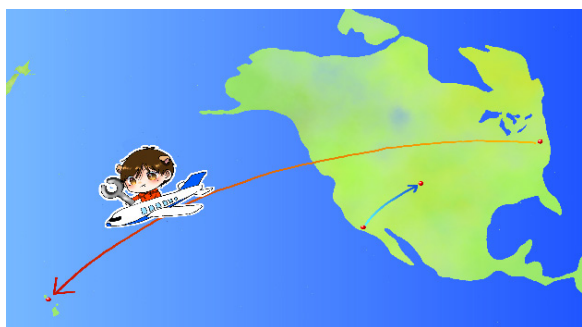


イラスト1 航空機で検査に向かうイメージ

3. エレベーターエキスポ物欲症

アメリカでは毎年場所を変えながら、エレベーターエキスポという展覧会が9月の中ごろ、2日間開催されています。日本で言うと日本エレベーター協会さんにあたる

NAEC(全米エレベーター協会と訳させていただきます)の主催で、巨大な国際会議場を借りて行われています。200社くらいのエレベーター関連企業がそれぞれブースを設置して、展示や商談などを行います。

特色のある会社は、エレベーターの運転プログラムを開発 販売する会社、貨物エレベーターのドアメーカー、パルプ専門メーカー、パネルやボタンや 銘板などの専門メーカー、エスカレーターのパーツ専門メーカーなどで、会場は大勢の人たちが話す声で活気にあふれます。毎年、平均2000人程度の業界関係者が参加するそうです。その中で目をひくものが3つありました。

1つめは、透明なアクリルの乗り場戸とかご戸にモーターなどの機器が取り付けられ、自動で開閉をくり返している展示です。戸と戸の係合(けいごう)の様子や、開閉のしくみが色々な角度から見られ、理解を助けてくれるすぐれものです。

2つめは空気圧でかごが動く、真空式エレベーターの展示です(写真2)。ピットと機械室がなくメンテナンスもほとんど必要ない、近未来的なエレベーターです。実際に乗ることができます。



写真2 エキスポ会場の真空式エレベーター (写真提供PVE合同会社)

3つめは機械室レスでシースルーのエレベーターが、その2日間のためだけに会場内に設置されているものです。もちろん実際に乗って昇降することができます。2階に上がると商談というよりもリラックスして歓談するスペースが設けられています。ドリンクとスナックも無

読者からの寄稿 <<ミスターEのアメリカエレベーター情報>>

料で提供してくれていました。びっくりするのは大きなクーラーボックスの中に、よく冷えたビールも入っていたことです。日本のビジネスシーンでは見かけない光景です。

参加者は最初に受け付けを済ませ、所属と名前（ニックネームもOK）を書いた名札を首から下げ、ブースを回って話をします。その後、カタログなどをいただくのですが、中にはあわせて粗品をくれるブースがあります。

それらはTシャツ、ナイロンまたは布製のバッグ、帽子、ペットボトルカバー、ボールペン、小型ライトなどです。これらのグッズ（写真3）は会社のロゴが入っているかっこいいデザインのものも多く、粗品の域をこえ魅力的なのです。



写真3 グッズいろいろ

会場の入り口付近では、大きくて頑丈なビニール製の袋を配ってくれる親切な会社があります。グッズの誘惑に勝てない「エキスポ物欲病」におかされると、せっかくの情報を得る場でおのれを見失い、その袋がグッズ収集用と化します。そのウイルスは脳内に入り込んで欲望をあおり、さらには効率よくグッズをもらおうとする衝動に駆り立てます。症状はかなり強く、精神力で抑える以外、効く薬なしです。私は見てしまいました。このウイルスに勝てなかった参加者が、大きなビニール袋4つをいっぱいにして、嬉しそうに車のトランクに詰め込む

姿を。

4. 日本食でないと無理〜病

私の属する組織では、その組織独自の検査員資格を維持するため、最低3年に1度、講習を再受講することが求められます。講習の期間は2週間です。しかしその間、ハンバーガー、フライドチキン、ピザなどの食事だけで過ごすことは私には無理です。

アメリカにも日本食レストランはありますが、大きな都市に限られます。おまけに日本がデフレになっている間に、アメリカでの食事代はびっくりするほど高くなっています。昼食にラーメンとギョーザとビールを手配した旅行代理店の人が、「50ドル（約5500円）請求された」となげくくらいです。

「日本食でないと無理〜病」にかかっている私は、レトルトパックになったごはん、カレー、丼もの、味噌汁などを日本から持参します。それでも2週間のすべてをまかなうだけ持って行けません。着替えと日用品もスーツケースに詰めると、航空会社に預ける荷物の重量限度23Kg（エコノミークラスの場合）ぎりぎりになるからです。

持参した食料でまかなえない分は現地調達です。田舎でも中華料理はたいていの町にあり、日本食の代わりとしておすすめできます。中でもチャウメン（やきそば）などの麺類、チャーハン、肉料理は、いずれも肉がたっぷり入ってコストパフォーマンスが高いうえ、味ではずれを引くことがほとんどありません。

それ以外のメニューは多少冒険するつもりで注文した方がいいでしょう。以前マーボー豆腐を注文してみたことがあるのですが、出てきたものは赤くありませんでした。とろみのついた塩辛い透明な汁の中に、サイコロ状の固い豆腐が沈んだ白い料理でした。すべてたいらげることができなかったことを正直にご報告申し上げます。（つづく）

昇降機 Column ②

# 今は昔“エスカレーターガール”

## — 昇降機の“思いやり”職業 —

■コラムニスト、エスカレーター技術研究家 齋藤 忠一



### ■そもそも“エスカレーターガール”とは—

昇降機、とりわけエスカレーターの歴史話は、国立科学博物館の報告書「エスカレーター技術発展の系統化調査」(2009年、後藤茂)に詳しい。あとがきに筆者の名があるせいか、愛着もあって〈座右の書〉としている。

モノグサな筆者、年末にボンヤリとニュース番組を観ていたら、新宿の某デパートで〈40年ぶりにエスカレーターガール、期間限定で復活〉と、やっていた。

早速、冒頭の〈座右の書〉を開いてみた—1914年(大正3)の納入写真に、下部右側に男性1人、それ以降は女性だけで、1936年(昭11)には下部左側に1人、1956年(昭31)の某百貨店の上掲写真(〈座右の書〉)に掲載。日立提供)には下部左側に2人(1人は交代要員であろうか)、右側に1人が写っていた…別の文献には、乗り降りですまじきような乗客を手助けしたり、非常停止などのボタン操作をするのが仕事、とあった。

歴史ついでに、エスカレーターの原型的発想は1850年代のアメリカで誕生し、実用に至った原型は1900年(明治33)の「パリ万博」に出展されたのが始まりとされている。現在の建築基準法に相当する関係法令に、1926年(大正15)の〈警視庁昇降機取締規則〉があり「非常の際、直ちに動力を遮断し得る装置」として非常ボタンの規定がある。事実、日本で最古のエスカレーター文献と目される〈日立評論〉(1937年)には「ボタンは上昇下降停止の三点とし〜これ等の内、停止ボタンのみは露出して非常時の停止用に便ならしめ〜」の記載がある。

小欄の2回目は、“思いやり”の職業“エスカレーターガール”について述べてみたいと思う。

### ■“何とかガール”の表現が気になる

ところで、モノ書きの視点では、今ごろ「何とか、ガール」と表現してもいいのだろうか、の疑問が湧く。

幼時から〈男女平等〉を教わり、〈男女共同参画〉や〈男女雇用均等法〉で社会の仕組みを知り、32年前の〈男女7人夏物語〉で恋愛事情を胸に刻んだ…色々な変遷をたどって、男性前提のサラリーマン、それに職業婦人を指

すOLに対して、今では男女の別や年齢を感じさせない〈サラリーパーソン〉を推奨する時代になっている。そんな折も折、どこぞの大学(医科入試)で女性と浪人生に不利な扱いをしていた事件には驚いた。

### ■エスカレーターを初めて見たのは—

しみじみ考えてみた—エスカレーターに出会ったのはいつ頃だったろう。確か、小学生時分…秋田駅が木造だった頃、石原裕次郎主演〈男が命を賭ける時〉の撮影風景を見に行った時の老舗デパートだったと記憶している。その映画は、撮影地が秋田油田で新潟を舞台にした、船医役の裕次郎25歳時の作で、川地民夫と芦川いづみがからむアクションドラマだった。

秋田駅が2年後に改築されてステーションビルに替わった時は“エスカレーターガール”が数人いた。

1957年(昭32)頃、世の中では初代のコロムビアローズ(旧名 斉藤まつ枝 ご存命ならば86歳)が歌う「東京バスガール」(作曲 上原げんと 作詞 丘灯至夫)「若い希望も恋もある♪」が流行った—それから10年後、社会に出て悲喜交々、長いエスカレーター人生…かつて、“華”とされた職業も今はない。

### ■“思いやり”を職業にした生き方

“思いやり”を職業としたエスカレーターガール—こういう職種が今もあれば、事故が相当数減るだろうに…この職業、桜の花言葉「あなたに微笑む」を連想させてくれる。ほかの文献をめくっていると、エスカレーターガールが出現する前に“エレベーターガール”や“デパートガール”が存在した歴史を知ることができる。

本版には、昇降機業界で活躍する男女を紹介する記事〈エレ小町〉〈エレ侍〉に毎号新顔が登場し、それら若者に頼もしさを感じつつ読んでいます。“小町”も“侍”も、ハイカラ指向の昔ならば“エレベーター”を冠したうえで“ガール”“ボーイ”の表記だったと思う。

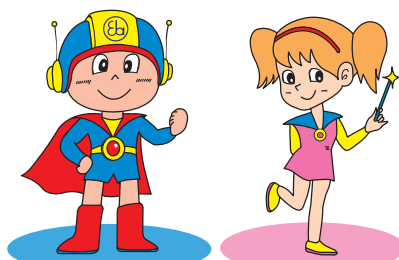
さて、季節は移ろい、春告草の花(梅)が過ぎて、北国からは桜満開の報も届いてきて嬉しい。

## 11月10日は「エレベーターの日」

1890年（明治23年）11月10日、東京、浅草に完成した12階建ての展望塔「凌雲閣」に、日本初の電動式エレベーターが設置されました。日本エレベーター協会では、この11月10日を「エレベーターの日」と定め、昇降機の安全、安心な利用のためのキャンペーンを実施しています。



凌雲閣（りょううんかく）



ベータくん

エスカちゃん

### 編集後記

東京2020オリンピック・パラリンピックの開幕まであと1年となり、様々なスポーツが盛り上がっているように感じます。お正月の駅伝から始まり、大学ラグビーや、テニスでは全豪オープンでの大坂なおみ選手の優勝、プロ野球の春季キャンプやオープン戦、卓球はTリーグや世界選手権、そして東京マラソンなど。サッカーではJリーグやAFCチャンピオンズリーグが始まりました。

思えば、今年の2月は平昌オリンピックで毎日様々な競技をテレビの前で観戦していました。あまりよく知らなかった競技もルールの説明を聞きながら見ることで、どの競技も楽しんで観戦することができました。

東京オリンピックでは33競技339種目、東京パラリンピックでは22競技539種目が実施されるそうです。最初に挙げたメジャーな競技だけでなく、まだあまり知らない競技もこれから勉強し、1年後を楽しみに迎えたいと思います。

さて、私は2018年の7月より当協会の編集委員となりました。先輩編集委員が24号まで作り上げてきた「エレベータージャーナル」に関ることができ、身の

引き締まる思いです。

今後ますます充実した情報を掲載し、ご覧いただけるよう編集委員一同努めて参ります。

（羽坂 記）

### ELEVATOR JOURNAL 2019年4月発行 No.24

編集委員 ◎委員長 ○副委員長

◎廣岡 正自	日本オーチス・エレベータ株式会社
○志賀 正己	三菱電機ビルテクノサービス株式会社
比佐 匠一	フジテック株式会社
羽坂佳穂里	三菱電機株式会社
堀越 隆晴	東芝エレベータ株式会社
山口 貴史	株式会社日立ビルシステム
武藤 健司	パナソニックホームエレベーター株式会社
吉田 憲司	三菱日立ホームエレベーター株式会社

発行者 橋本安弘

発行所 一般社団法人日本エレベーター協会

〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2（第2九曜ビル）

TEL (03) 3407-6471 (代) FAX (03) 3407-2259

URL : <http://www.n-elekyo.or.jp>



㊤ 一般社団法人日本エレベーター協会